

2016 年度支部共通事業 日本建築学会設計競技

課題：残余空間に発見する建築

応募要領

主催：日本建築学会

後援：日本建設業連合会、日本建築家協会、日本建築士会連合会、
日本建築士事務所協会連合会（以上、予定）

20 世紀の建築は〈アイデアの塊〉として登場しました。コルビュジエのサヴォア邸はフリースタANDINGのオブジェクトとして存在しています。それは一冊の本のような思索の塊であり、身体を通して空間を読み解く人に語りかけます。注意深く観察すると、それは閉じた塊ではなく、大気や地面との応答が織り込まれていますし、その時代や文明にも言及しているように思えます。

モダニズムの建築は、切り取られた敷地の上に置かれた〈意味の塊〉として構想されています。その結果、私たちの都市空間は、互いに無関係な建築物の集積のように感じられます。私たちの生活は連続する時間のなかにあります。それを受容する都市空間は切り刻まれています。

〈意味の塊〉の間 (in-between) には、厚みのある境界のような残余の空間が存在します。都市のなかで意識から外れてしまうこのような残余空間に目を向けてみると、そこに新しい建築概念が生まれる場があるように思えます。そんな建築を発見してください。

審査委員長 北山 恒

応募規定

A. 課題

残余空間に発見する建築

B. 条件

実在の場所（計画対象）を設定してください。

C. 要求図面および提出資料

①提出資料：提出資料の用紙は A1 サイズ 2 枚（594×841 mm）とします。なお、サイズ厳守、変形不可、2 枚つなぎ合わせることは不可です。提出資料の裏面には、それぞれの番号を付けてください（No.1、No.2 と明記）。仕上げは自由としますが、写真等を貼り付ける場合は剥落しないように注意してください。なお、パネル、ボード類は使用しないでください。模型、ビデオ等は受け付けません。

②要求図面等：要求図面は、配置図、平面図、断面図、立面図、透視図です（縮尺明記のこと）。提出資料には要求図面のほか、計画対象の現状や計画条件を図や写真等を用いて解説したものと、作

品名・設計主旨（600 字以内の文章にまとめ、10 ポイント以上の文字で提出資料中に記入）、模型写真等を自由に組み合わせ、わかりやすく表現してください。

③提出資料とは別に、上記②の作品名・設計主旨を A4 判用紙 1 枚（縦使い）に印刷して提出してください。

④上記のほかデータ類として、1) 2 枚の提出資料の内容をそれぞれ 350dpi の PDF ファイルとしたもの、2) 作品名・設計主旨の要約（200 字以内）のテキストデータ、3) 顔写真（横 4 cm×縦 3 cm 以内：顔が写っているものに限る）のデータ、を納めた DVD または CD を 1 部提出してください。

※提出資料及びデータ類は、全て無記名としてください。

なお、④は審査対象の資料としては使用せず、入選後の作品集の原稿の一部として使用いたします。

D. その他注意事項

①図面および設計主旨の概要文用紙には、応募者の氏名・所属などがわかるようなものを記入してはいけません。

②応募作品は、ほかの設計競技等と二重応募になる作品、あるいはすでに発表された作品は応募できません。

③応募作品は、本人の作品でオリジナルな作品であることを要求します。

E. 応募資格

本会個人会員（準会員を含む）、または会員のみで構成するグループとします。なお、同一の個人または代表名で複数の応募をすることはできません。

※未入会者、2016年度会費未納者ならびにその該当者が含まれるグループの応募は受け付けません。応募時までに入会および完納すること。

F. 提出方法

①所定の応募申込書（本会ホームページから入手してください。 <http://www.aij.or.jp/jpn/symposium/2016/compe.doc>）、設計主旨を入れた封筒、提出資料、データ類を納めたDVDまたはCDを一括して提出してください。なお、受領通知が必要な方は、受領通知返信はがき（官製はがきに代表者の住所・氏名記入のこと）を同封してください。

②応募作品は 1 案ごとに別々に提出してください。

③締切期日：2016 年 6 月 24 日（金）必着（17:00 まで）

④提出先：計画対象の所在地を所轄する本会各支部の事務局とします。例えば、関東支部所属の応募者が、東北支部所轄地域内に場所を設定した場合は東北支部へ提出してください。海外に場所を設定した場合は、応募者が所属する支部へ提出してください。

⑤各支部事務局 所在地一覧

・北海道支部（北海道）

〒060-0004 札幌市中央区北 4 条西 3 丁目 1
北海道建設会館 6 階

TEL011-219-0702

- ・東北支部（青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島）
〒980-0011 仙台市青葉区上杉 1-5-15
日本生命仙台句当台南ビル4階
TEL022-265-3404
- ・関東支部（茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨）
〒108-8414 東京都港区芝 5-26-20
TEL03-3456-2050
- ・東海支部（静岡、岐阜、愛知、三重）
〒460-0008 名古屋市中区栄 2-10-19 名古屋商工会議所ビル 9階
TEL052-201-3088
- ・北陸支部（新潟、富山、石川、福井、長野）
〒920-0863 金沢市玉川町 15-1 パークサイドビル3階
TEL076-220-5566
- ・近畿支部（滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山）
〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4 大阪科学技術センター内
TEL06-6443-0538
- ・中国支部（鳥取、島根、岡山、広島、山口）
〒730-0052 広島市中区千田町 3-7-47 広島県情報プラザ 5階
広島県建築士会内
TEL082-243-6605
- ・四国支部（徳島、香川、愛媛、高知）
〒782-0003 高知県香美市土佐山田町宮ノ口 185 高知工科大学
地域連携棟 201
TEL0887-53-4858
- ・九州支部（福岡、佐賀、長崎、熊本、宮崎、大分、鹿児島、沖縄）
〒810-0001 福岡市中央区天神 4-7-11 クレアビル5階
TEL092-406-2416

G. 審査方法

①支部審査

各支部に集まった応募作品を支部ごとに審査し、応募数が15点以下は応募数の1/3程度、16～20点は5点を支部入選とします。また、応募数が20点を超える分は、5点の支部入選作品に支部審査委員の判断により、応募数5点ごと（端数は切り上げ）に対し1点を加えた点数を上限として支部入選とします。

②全国審査

支部入選作品をさらに本部に集め全国審査を行い、H項の全国入選作品を選出します。

1) 全国1次審査会（非公開）

全国2次審査進出作品のノミネートとタジマ奨励賞を決定します。

2) 全国2次審査会（公開）

ノミネート者によるプレゼンテーションを実施し、その後に最終審査を行い、各賞と佳作を決定します。なお、代理によるプレゼンテーションは認めません（タジマ奨励賞のプレゼンテーションはありません）。

- ・日時：2016年8月24日（水）10:00～15:00
- ・場所：福岡大学（大会会場：福岡市城南区七隈 8-19-1）

・プログラム（予定）：

- 10:00～ 開場
- 10:15～12:00 ノミネート者によるプレゼンテーション
（発表時間8分間/PCプロジェクターは主催者側で用意します。パソコン等は各自で用意してください。）
- 13:00～15:00 公開審査
- 16:15～17:00 表彰式

*プログラムは、大会スケジュールにより時間が多少前後する場合があります。

③審査員（敬称略順不同）

〈全国審査員〉

- 委員長：北山 恒（法政大学教授）
- 委員：乾 久美子（横浜国立大学 Y-GSA 教授）
- 大月 敏雄（東京大学教授）
- 山道 拓人（ツバメアーキテクト代表取締役）
- 篠原 聡子（日本女子大学教授）
- 塚本 由晴（東京工業大学教授）
- 手島 浩之（都市建築設計集団/UAPP 代表取締役）
- 仲 俊治（仲建築設計スタジオ代表取締役）
- 平田 晃久（京都大学准教授）
- 村上 徹（広島工業大学教授）

〈支部審査員〉

●北海道支部

- 赤坂真一郎（アカサカシンイチロウアトリエ代表取締役）
- 久野 浩志（久野浩志建築設計事務所代表）
- 小西 彦仁（ヒココニシ設計事務所代表取締役）
- 山田 良（札幌市立大学准教授）
- 山之内裕一（山之内建築研究所代表）

●東北支部

- 浦部 智義（日本大学准教授）
- 櫻井 一弥（東北学院大学教授）
- 野村 俊一（東北大学准教授）
- 不破 正仁（東北工業大学講師）
- 安田 直民（SOY source 建築設計事務所取締役）

●関東支部

- 川口 晋（NTTファシリティーズDC&BCPプロジェクト本部長）
- 杉山 俊一（日建設設計部長）
- 塚田 修大（塚田修大建築設計事務所代表）
- 津野恵美子（津野建築設計室）
- 藤井 由理（早稲田大学准教授）

●東海支部

- 伊藤 孝紀（名古屋工業大学准教授）
- 曾我 裕（竹中工務店名古屋支店設計部専門役）
- 太幡 英亮（名古屋大学准教授）
- 諸江 一紀（諸江一紀建築設計事務所代表）

吉村 昭範 (D.I.G Architects 代表)

●北陸支部

篠島 弘男 (富山県建築住宅センター専務理事)
鈴木 晋 (新潟大学特任教員)
中森 勉 (金沢工業大学教授)
西村 伸也 (新潟大学教授)
梅干野成央 (信州大学准教授)
矢尾 憲一 (ヤオ設計代表)

●近畿支部

東井 嘉信 (大林組建築事業部課長)
江副 敏史 (日建設計デザインフェロー)
角田 暁治 (京都工芸繊維大学准教授)
北村 潤 (東畑建築事務所シニアアーキテクト)
槻橋 修 (神戸大学准教授)

●中国支部

内田 文雄 (山口大学教授)
岡河 貢 (広島大学准教授)
小川 晋一 (小川晋一都市建築設計事務所)
真木 利江 (広島女学院大学准教授)

●四国支部

内野 輝明 (内野設計代表)
恵谷 益行 (四電技術コンサルタント建築部部長 (嘱託))
平山 昌信 (艸建築工房代表)
松浦 洋 (松浦設計代表)

●九州支部

池添 昌幸 (福岡大学准教授)
大西 康伸 (熊本大学准教授)
柴田 晃宏 (鹿児島大学准教授)
趙 世晨 (九州大学准教授)
牧 敦司 (醇建築まちづくり研究所代表取締役)

H. 賞および発表

①賞

- 1) 支部入選者：支部長より賞状および賞牌を贈ります (ただし、全国入選者は除く)。
- 2) 全国入選者：次のとおりとします (合計 12 点以内)。
 - ・最優秀賞 2 点以内
賞状・賞牌・賞金 (計 100 万円)
 - ・優秀賞 数点
賞状・賞牌・賞金 (各 10 万円)
 - ・佳作 数点
賞状・賞牌・賞金 (各 5 万円)
- 3) タジマ奨励賞：10 点以内 賞状・賞牌・賞金 (各 10 万円) (タジマ奨励賞は、タジマ建築教育振興基金により、支部入選作品の中から、準会員の個人またはグループを対象に授与します。)

②入選の発表

1) 入選の発表

- ・支部審査の結果：各支部より応募者に通知 (8/5 以降)
- ・全国審査の結果：支部入選者には、全国 1 次審査結果を 8 月上旬に通知
- ・全国入選作品・審査講評：『建築雑誌』2016 年 11 月号誌上発表
- ・全国入選作品展示：大会会場にて展示

2) 支部入選者賞の贈呈：各支部による。

全国入選者表彰式：8 月 24 日 (水) 福岡大学 (大会会場)

I. 著作権

入選作品の著作権は、入選者に帰属します。

ただし、建築学会がこの事業の主旨に則して入選作品を会誌またはホームページへの掲載、図書の出版、展示などの公表のために用いる場合、入選者は無償で作品データ等の使用を認めることとします。

J. その他

- ①応募作品は、返却致しません。必要な方は作品の控えと作品データを保管してください。
- ②質疑は受け付けません。
- ③応募規定に違反した場合は受賞を取り消すことがあります。

K. 問合せ (本部・支部事務局)

日本建築学会 各支部事務局 設計競技担当 (F⑤参照)
日本建築学会 本部事務局 設計競技担当
〒108-8414 東京都港区芝 5-26-20
TEL 03-3456-2056

2016 年度 日本建築学会設計競技
「残余空間に発見する建築」応募申込書

応募支部	支部 (設定地 :)	タジマ奨励賞対象者※2		整理番号	支部 No.	本部 No.
作品名・フリガナ						
応募者氏名・フリガナ 連絡先 (自宅)			会員種別※1 会員番号	所属 (勤務先、部課/学校、学年) 連絡先 (所属)		
代 表 者	フリガナ	種別	会員	所属 (勤務先、部課/学校、学年)		
	氏名	番号				
自 宅	〒		所	〒		
	TEL		属	TEL	FAX	e-mail
共 同 制 作 者	フリガナ	種別	会員	所属 (勤務先、部課/学校、学年)		
	氏名	番号				
自 宅	〒		所	〒		
	TEL		属	TEL	FAX	E-mail
自 宅	〒		所	〒		
	TEL		属	TEL	FAX	E-mail
自 宅	〒		所	〒		
	TEL		属	TEL	FAX	E-mail
自 宅	〒		所	〒		
	TEL		属	TEL	FAX	E-mail
自 宅	〒		所	〒		
	TEL		属	TEL	FAX	E-mail

注) 太線の枠内をご記入ください。

※1: 応募資格は本会個人会員 (準会員を含む) または会員のみで構成するグループですので、必ず会員種別と会員番号を記入してください。入会手続きは、本会ホームページで行うことが可能です。 <http://www.aij.or.jp>

※2: タジマ奨励賞は、準会員の個人または準会員のみのグループが対象となります。対象者は、○をしてください。